



第48号

発行所  
水沢馬場  
水沢高校同窓会  
☎0197-24-3151

年号も令和になり同窓生の皆様も新たな気持ちでお過ごしのことと思います。年号が変わり何か国全体がリセットされた気分になるの



同窓会長 長野 耕 定

は世界の中でも日本独特なのでしようか。

戦後昭和の成長、平成の停滞、私でさえスマホを肌身離さず持ち歩くようになって今、科学技術の凄い発達の中、将来令和はどう評価されるのでしょうか。

昨年はラグビーW杯日本開催での代表選手達の活躍を報ずる記事が群を抜いていました。他にも野球、卓球、バドミントン、ゴルフの渋谷さんなど世界大会で多くの日本選手が頑張りました。こちらは優勝しているのにラグビー選手の

年末年始のTV出演の多さにはびっくりするほど、扱いに差が感じられました。ワンチームで挑み、優勝候補のアイスランドに勝利して悲願のベスト8達成がよかったでしょう。確かに日本中が盛り上がり一つになったのは事実でした。

実は私に釜石会場でのカナダ対ナミビア戦のチケットが奇跡的にも手に入ったのです。はやる気持ちで観戦準備を始めました。水沢

江刺駅から会場までのバスチケットを予約したり、どうせなら応援しようと思い帽子にカナダ国旗のワッペンを付けたり、前に買っておいた国旗入りのTシャツを準備して開催日待ちました。

ところが、ご承知のように特大の台風19号襲来です。当日早朝に試合中止の案内がスマホに入りまされた。時間がたつ程に報道される被害は甚大なものでした。被害にあわれた方々にはお見舞い申し上げます。

しかし、その後の両チームの選

手たちの地元地域(宮古・釜石)へのボランティア活動などが報道され、試合は行われませんでした。スポーツの持つ力を感じさせられました。

なぜ私がラグビーW杯でカナダを応援するかというと、私の初代に当たる曾祖母がカナダ・バンクーバーで商いをしていたことがあったからです。港に近いパウエル街24番地で日本からの移民相手の宿屋等をしていたと聞いていました。大正初期の頃で約百年前のことです。私が6歳の時に亡くなった曾祖母は厚めのティーカップでミルクティーを飲んでいましたが、あのゆったりとした香りが思い出されます。そんなことで小さい時からカナダには多少興味を持っていました。

水高も早いもので今年が創立110年になります。会といたしましてもPTA、学校と共に行事を行いたいと思っております。同窓会員・在校生向けに記念式典・講演会を10月に予定しています。記念誌も百周年からの10年を中心としたものを発行し桜の植樹、資料のデジタル化などを行います。

百周年の規模ではありませんが、今年一年は節目の年を意識しながら過ごしたいと思えます。宜しくお願致します。

ご挨拶



校長 及川 晃 貴

同窓生の皆さまには日頃より母校に心を寄せ、後輩在校生のために物心両面からご支援ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

昨春の着任以来、各界の方々と交流する機会に恵まれ、話題が進む中で「実は水高出身です」という方にも多く出会いました。先導的な立場で活躍なさる先輩諸氏に敬意を表します。また、同窓生からの拠金を原資として奨学金制度を整備している水高育英会は、稀有な支援組織であり、後輩に対する慈しみと愛情の賜といえます。おかげさまで生徒は安心して上級学校を目指すことができ、希望校に進学しています。

今年度は本部同窓会に加えて、盛岡、仙台、関東の各支部同窓会に

本校教育活動の特色の一つに、スーパースサイエンスハイスクール(SSH)の取組が挙げられます。

出席をさせていただきました。講演で新たな知識を得、懇親では各年代の方々との交流を深めました。その節はお世話になりました。

各総会では、私から学校の現況を報告いたしました。その内容を本稿でも紹介します。

本校教育活動の特色の一つに、スーパースサイエンスハイスクール(SSH)の取組が挙げられます。文部科学省による「日本のイノベーション創出を担う科学技術人材の育成」プロジェクトで、本校は事業開始の翌年にあたる平成15年度に第1期3年間の指定を受けました。以来三期14年にわたって研究開発を進め、途中、第2期終盤に発生した東日本大震災津波により、第3期のテーマに「ポスト3・11社会構築力の育成」を据えるなど、一

貫して地域の実情に即した取組を展開してきました。

平成29年度からは「地域創生の原動力となる科学系人材育成」イーハトーブに学ぶ」とする第4期5年間の研究を開始し、今年度はその3年目です。

第4期研究開発の大きな柱はSSH事業対象を生徒全員に拡大したこと。理科での取組で蓄積してきた教育資源をあまねく全生徒に還元し、普通科においても文系・理系の隔てなく、水高での学びをとおして科学的な見方・考え方を培おうとするものです。

現3年生は、第4期初年次の1年生として研究の基礎を学び、2年次には各自選択した科・コースに沿ったテーマで「課題研究」に取り組みました。3年次の今年度は従来の理数科に加え、普通科も課題研究英語発表会を実施しました。一方、理数科は研究成果の発信に努め、プロセス化学国際シンポジウム(英語発表)で化学班が特別賞を、日本学生科学賞岩手県審査で三つの班が最優秀賞を受賞するなど、本校SSHが目指す「じりつ(自立・自律)した行動力を持ち、国際性を兼ね備えた人材」の育成が実を結んできています。

部活動は、県高総体で女子弓道部が22年ぶりの団体優勝を果たし、個人優勝のウエイトリフティング部とともに昨夏のインターハイ(宮崎・沖縄)に出場しました。また、文芸・短詩部が全国高校総合文化祭(佐賀)と俳句甲子園(愛媛)に出場し入賞するなど、随所で水高生の活躍が見られました。

この1月末、東京のプロ写真家が来校され、「バンカラ精神に焦点を当てた写真集を作りたい」との申し出がありました。東京開催の写真展に来場した本校同窓生から、水高のバンカラのことを聞き興味を持ったのだそうです。このように先輩から連なる伝統を礎に学ぶ生徒たちは今、「一竜一猪」を全校スローガンに掲げ、自己研鑽に励んでおります。

同窓生の皆さまには今後とも深いご理解の下、後輩在校生・卒業生への変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

【お知らせ】水高生の日々の様子をブログで発信しています。

「水高日記」



# 同窓会総会

令和元年度同窓会総会・懇親会を8月

10日(土)に水沢グランドホテルで開催し、60名が集いました。今年度も関東・仙台・盛岡の各支部からも参加いただきました。

総会では例年通り「平成30年度事業報告・決算」「令和元年度事業計画・予算」のほか、来年度に本校が創立一一〇周年を迎えることから、記念事業の計画を提案し、承認されました(総会議事については同窓会ホームページに掲載)(記念事業の内容は本会報別掲)。

総会後の講演会は元東北銀行頭取の浅沼新(あらた)さん(昭和38年3月卒業高校15回生)から、『地方を元気に』と題したお話を賜りました。地方のコミュニティや経済が住民の高齢化と人口減で沈滞してきています。これをいかに活性化させるかを、紫波町の「オガール紫波」を例に、浅沼さんの銀行家としての経験も入れながら話されたものでした。地方が疲弊していくことは、奥州市も例外ではなく、大いに参考となる内容でした。

懇親会は盛会となりましたが、40代以前の参加者が少ないのは寂しい限りです。

世代を超えて交流していくこと、そして同窓生として母校を支援していくために若い世代へ同窓会活動を広げていく必要を感じました。

「同窓会総会って名士の集まる会ではないですか?」との声を多くの方からいただきますが、水沢高校を母校として共有するだけの、フラットな懇親の場になりたいと企画しています。今回は、同級生、お知り合いにもお声がけいただき、皆様ぜひご参加ください。



## 仙台支部総会

水高同窓会仙台支部の総会・交流会を11月10日(日)、水沢高校の及川晃貴校長、同窓会本部の長野耕定会長、関東地区同窓会の山口光会長のご出席をいただき、宮城野区内のホテルで開催しました。サブタイトルの「宮城の食材を味わる昼食会」は定着しており、参加者は38名(3割の女性)でした。

及川校長から生徒会スローガン「先手必勝の水高」、「一竜一猪」の狙い、長野会長からはOB監督を迎え、「悲願の甲子園が目の前」、山口会長からは関東地区の最新情報とともに「仙台は身近な存在」とのお話がありました。村上栄一仙台支部会長(48年卒)からは東北大学病院の亀井尚副院長(60年卒)と話している際、「なままりが似ていることがきっかけで水高後輩とわかった」などのエピソードが紹介されました。

かねてから「水高のにおいがプンプンするような企画」の要望があり、「水高NOW2020」と題した幻燈会(プレゼンテーション)を実施しました。数年前に仙台スタジアムで女子サッカー東北大会決勝が行われ、水高は準優勝、全国優勝経験がある常盤木学園が優勝。この話題に触れ阿部智さん(昭和28年卒)が「常盤木の監督は息子」と申し訳なさそうに弁解されるなど、参加者一同「記憶を埋める10分間」となりました。

本会の出欠回答には多くのコメント

トが寄せられていますので、いくつか紹介します。

・ 仙台一高祭の応援団教室に水高の手拭いが飾ってあり、懐かしかった。  
一高の勝利の歌は水高と同じ。孫娘と一緒に「戦い勝てりうま酒を」と歌い、幸せを感じた。(藤島ユキ子・33年卒)

・ 2年から福島の子高から転校。あまりに校風が違い、カルチャーショック。でも、それはそれは楽しく充実した2年間だった。(手嶋美枝子・51年卒)

・ 職場の周囲が田んぼ。窓の外からスズムシやカエルの鳴き声が聞こえ、水沢の風景を思い出します。(久慈裕子・平成5年卒)

・ 司会は石川嘉洋さん(平成7年卒)が務めました。水高は創立110周年を迎えます。同窓会の運営も平成卒生へバトンタッチが期待されています。(仙台支部・佐々木伸・48年卒)



### 盛岡支部総会

盛岡支部総会は、令和元年7月6日(土) エスポワールいわてにて開催致しました。  
 令和初めての支部総会ということもあり、今まで平日開催としておりましたが、初の試みとして土曜の15時から開催しました。

本部から長野会長、学校からは及川晃貴校長、同窓会事務局の高橋一成指導教諭に御出席頂き、参加者は21名でした。総会は、八重樫勝支部長から挨拶を頂き、懇親会では長野会長と及川校長から祝辞を賜りました。

乾杯の発声は副支部長の千葉務様から頂戴し、昭和28年卒業の及川 陸男先輩を始めとし、全員から近況報告等を頂きました。

今回は前年より参加者が若干増え、盛り上がった総会になりほっとしたところです。

今年は佐々木朗希投手が野球界の話題の中心ですが、大谷翔平選手の二刀流復活も期待されるそうです。翻って、母校においても全国高校野球選手権大会岩手県予選で、まずは県営球場で勝利することが、盛岡支部同窓会への参加者増にも繋がることと考えておりますので、なお一層の活躍を期待しております。

更に東京オリンピックの開催を控え盛り上がりを見せているところですが、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、世界的に不安が拡がっております。一日も早い終息を願っております。

最後になります。盛岡市内及び近郊の皆様におかれましては、令和2年の盛岡支部総会日程が決まり次第お知らせ致しますので、日程を調整の上、一人2人以上の同窓生をお誘いの上、出席していただきますようお願い致します。

(盛岡支部事務局長 佐藤 秀公 昭和54年卒)



水高盛岡支部総会・懇親会

### 関東支部総会

令和になって最初の関東地区同窓会総会を、天皇陛下の即位に伴う一連の行事が終了した、昨年11月16日(土)、皇居に近い千代田区二番町の東京グリーンパレスで、開催しました。同窓生や学校関係者ら60名を超える参加があり、水沢から同窓会本部長の長野耕定会長、及川晃貴校長、佐藤貴之事務局長が出席され、さらに、支部間交流として、仙台支部から石川嘉洋さんが出席されました。

総会では、関東地区同窓会の山口光会長から「諸先輩が長年にわたり築かれた水高関東地区同窓会の伝統を守り、水高同窓会のナショナルハブセンターとして情報発信を行い、同窓生の交流の拠点としていきたい」との挨拶がありました。特別講演では、I M G東京支社代表 菊地広哉さん(第28回生 昭和51年卒)による「東京2020オリンピック・パラリンピックと日本におけるスポーツ・エンターテインメントビジネスの可能性」と題する講演がありました。

懇親会に移り、来賓の長野同窓会長の挨拶、及川校長から水高の近況報告があったのち、出席者最年長の松樹借子さん(第3回生 昭和26年卒、遺囑歌作詞者 阿部庄一郎先生の御息女)の音頭で乾杯し、その後、出席者の近況報告など旧交を温める語らいの輪ができました。卒寿を超えて地域活動をされている先輩、50年ぶりの再会を喜びあう同窓生、大病を克服して参加した同窓生など、様々な方々が、龍ヶ丘の水高時代に語り合いました。

最後は応援団長だった高橋徹さん(第26回 昭和49年卒)はじめ応援団OBの皆さんのタクトで応援歌、遺囑歌を歌い、校歌斉唱と「フレ、フレ、水高」のコール、菊池恵さん(第24回 昭和47年卒)の音頭で、2年後の再会を誓い、三本締めで散会しました。

なお、総会・特別講演・懇親会の模様は、同窓会ホームページ(<http://www.hmzuko.com/>)に掲載しています。(関東地区同窓会副会長 工藤康博)



### 水沢高等学校

#### 創立110周年事業について

本校は明治42年の創立から、令和2年度で創立110周年を迎えます。

それを記念する事業を同窓会事務局・役員会で検討してまいりました。創立百周年の大きな節目を経た10年目との位置づけから、簡素化を旨とし、協賛募金も実施せずすめる計画を8月の同窓会総会に提案し、了承されました。

その内容は次のとおりです。記念式典・祝賀会を開催しますので、ご参加賜りますようお願いいたします。詳細は同窓会ホームページに逐次掲載いたします。

本校と本校生徒の活動に対し、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

#### 1 事業

① 式典、祝賀懇親会  
 令和2年10月31日(土)

② 記念講演会

③ 110年史(100周年からの10年を中心としたもの)の発行・販売

④ 資料、写真等の整理、デジタル化

⑤ 記念植樹(桜)

⑥ その他 必要に応じて各種行事の名称に「創立110周年」の冠をつける。

#### 2

事業推進組織

実行委員会の設立(同窓会 P T A・教育振興会 学校 による)

# 現役生の活躍

## 弓道 水沢 22年ぶり頂点



新刊同窓会報の同日、各地の勝  
抜がわれ、弓道女子団体は水沢が  
22年ぶりの頂点に上り、空海でも矢  
の距離を(し)か加藤君、メンタハ  
イ(じ)を備えた、勇往、矢二男が  
フルに開く姿を、原野、原野、  
年(し)が女子の活躍は、大会出場を  
め、女子の活躍は、大会出場を

2019  
県高校  
総体



女子個人準優勝の伊藤選手 (2019年)

高総体  
弓道女子団体 優勝  
胆江日日新聞  
令和元年5月30日付

## 水沢高女子 バスケ 攻守はつらつ 大舞台へ



県予選を突破し、東日本エリア大会での複闘を誓う (左から) 中村碧羽さん、及川紗那さん、羽藤愛さん、阿部唯果さん

県立水沢高校の女子バスケットボール部、部長伊藤監督のチ  
ムが、第6回3×3U18日本選手権女子選手権予選の場で優勝し、11  
月に東京都内で開催される東日本大会進出を誓った。メンバーは  
4人編成で、いずれも1年生の及川紗那さん(16)、羽藤愛さん  
(16)、中村碧羽さん(16)、阿部唯果さん(16)。1カ月後に控  
える大舞台にもむきで、持ち前の明るさとチームワ  
ーク、個性も兼ね備えた力の高さを必勝を期す。

3×3U18日本選手権県予選で優勝

水沢高女子バスケ 3×3U18日本選手権県予選で優勝  
胆江日日新聞  
令和元年10月17日付



学生科学賞県審査表彰式  
読売新聞 令和元年12月18日付

最優秀賞の表彰を受けた県立水沢高校の生徒たち (16日、奥州市で)



読売新聞社主催、旭化成協賛の県審査で、高校の部の最優秀賞に輝いた県立水沢高校の3グループの表彰式が16日、同校で行われた。表彰されたのは、いずれも理科科の卵班4人。鷹解還元班4人、レタス班3人。式では、渡辺理雄・読売新聞盛岡支局長から各班の代表者に賞状とトロフィーが手渡された。続いて、優秀賞の耐震構造班、風力発電班、ハヤチネ班にも賞状と盾が贈られた。

式の後、卵班の羽石乃彩さん(18)は「研究内容が途中で変わり、やり足りない部分もあったが、うれしー、電解還元班の及川勝太郎さん(18)は「互いに意見を話し合ったり考えたりして、学ぶことが多かった。協力して研究するのは楽しかった」と振り返った。

**水沢高「研究楽しかった」**  
学生科学賞県審査 表彰式

県高校 新人大会 男子個人で準優勝

弓道(豊嶋成業)水沢高2年

いつも通りの射で

盛岡市の県立武蔵野会場で、先月行われた県立新人大会男子個人戦準優勝。8射中の全射者2人争った順位決定戦(射)で惜しくも敗れたが、今般「期待をこぼさず」力を示した。

「公式戦はあまり出たことがない。周の選手に比べ緊張感がなかった」とリリッとした状態を脱いだ10目の立ちで、いきなりな射中。2回目の立射でも1本目の立ちから計5連続射中。しかし、3本目は矢的の秘をたまため、先月の新人大会では不明、外れたかな」と新大会で男子個人戦準優勝。8射中の全射者2人争った順位決定戦(射)で惜しくも敗れたが、今般「期待をこぼさず」力を示した。

「公式戦はあまり出たことがない。周の選手に比べ緊張感がなかった」とリリッとした状態を脱いだ10目の立ちで、いきなりな射中。2回目の立射でも1本目の立ちから計5連続射中。しかし、3本目は矢的の秘をたまため、先月の新人大会では不明、外れたかな」と新大会で男子個人戦準優勝。8射中の全射者2人争った順位決定戦(射)で惜しくも敗れたが、今般「期待をこぼさず」力を示した。



弓道県高校新人大会 男子個人で準優勝  
胆江日日新聞  
令和2年2月6日付

全国舞台で有終の美

水沢高文芸 短詩部員 個人・団体受賞ラッシュ

短詩部員 個人・団体受賞ラッシュ

水沢高文芸短詩部員、個人・団体受賞ラッシュ



全日本短詩大会(個人)で、最優秀賞を受賞した水沢高文芸短詩部員(左から)外山さん、千田さん、外山さん、千田さん、外山さん、千田さん

水沢高文芸短詩部 個人・団体受賞ラッシュ  
岩手日日新聞  
令和2年2月19日付



# 後輩も頑張っています



## 最近3年間の進路状況

卒業年				卒業年				卒業年				卒業年			
学校名等	H31	H30	H29	学校名等	H31	H30	H29	学校名等	H31	H30	H29	学校名等	H31	H30	H29
旭川医科大			1	職業能力開発			1	明海大	3			早稲田大	1	2	1
北海道教育大		1	3	県立産業技短	3	2	2	麗澤大	1			神奈川大	3	2	4
小樽商大		1	2	神奈川県立産業技短	1		1	青山学院大		1	1	神奈川工科大			2
北見工大		1	1	合計	4	2	4	亜細亜大	1	1		神奈川歯科大	1		
北海道大		2	1	札幌学院大			1	桜美林大	2	1		鎌倉女子大			3
室蘭工大	1		4	北海道科学大	1	2	2	江戸川大		1		関東学院大	1	2	
弘前大	3	5	8	北海道医療大			2	大妻女子大		3		松蔭大	1		
岩手大	25	25	21	北翔大		1		嘉悦大	1			山梨学院大	3		
東北教育大	7	11	3	酪農学園大			2	東京国際大	1			名古屋芸大		1	
宮城教育大	2	2	1	千歳科学技大			2	獨協大	1		2	金沢工大			1
秋田大	2	3	6	日本医療大			1	北里大			1	慶應義塾大			1
山形大	5	5	9	八戸工大		3	1	工学院大	1			京都学園大	1		
福島大	5	2		弘前医療福祉大	1			国際基督教大			1	立命館大			1
茨城大		1	3	弘前学院大			1	芝浦工大	1	1	3	神戸学院大		1	
筑波大		1		青森中央学院大			1	東京工科大			3	兵庫医療大		1	
宇都宮大	1	3	5	岩手医大	8	8	16	駒澤大	1			新潟薬科大			1
群馬大	1	1	3	岩手保健医療大	1	7	3	順天堂大	1			びわこ成蹊大			2
埼玉大	2	1	3	盛岡大	13	20	15	上智大	1			合計	198	199	231
千葉大	1	1		富士大	1	2	3	成蹊大			1	岩手県大宮吉短	3	1	3
電気通信大	1	1	1	石巻専修大	4	1	2	成城大		2	1	岩手県大盛岡短	1	1	2
東京工業大			1	仙台大	2	1	1	専修大	1	1	1	山形県米沢女短	2	2	3
東京農工大		1		東北学院大	18	10	10	白百合女子大		1		会津大短大部	2	1	4
東京学芸大		1	1	東北工大	11	14	5	大正大	1		1	大月短大	2	1	4
横浜国立大			1	東北福祉大	14	18	10	大東文化大	5			川崎市立看護短	1		
新潟大	2	2	1	東北医科薬科大	5	3	6	高千帆大		1		静岡県大短大部			1
金沢大	1		2	東北生活文化大	1		3	拓殖大	1			合計	11	6	17
富山大		1		宮城学院女子大	5	5	7	フェリス女大		2		新渡戸文化短	1		
山梨大		2		仙台白百合女子大	1	5	4	玉川大	1		1	盛岡大短大部			3
信州大		1	1	東北文化学園大	6	7	1	中央大	2	1	1	修紅短	1		1
静岡大		1		尚綱学院大	4	4	6	津田塾大			1	聖和学園短	1		
長崎大		1		秋田看護福祉大			1	帝京大	5	5	4	仙台青葉学院短	1	1	3
合計	59	77	82	日赤秋田看護大			1	東海大	5	4	7	東北文教大短大		1	
札幌市立大			1	奥羽大	1		1	東京経済大			1	日赤秋田短大	1		
釧路公立大	2	1	3	東北芸術工大	1			東京成徳大		1		帝京短			1
名寄市立大	2		1	東北公益文科大		1	1	東京福祉大			1	鎌倉女子大短大部			1
青森県立保健大	1	5	2	いわき明星大		1		東京女子大	1			有明教育芸術短大			1
青森公立大	1	1	3	郡山女子大			1	東京女子医大		1		共立女子短大		1	
岩手県立大	12	6	8	つくば国際大		1	3	東京電機大		2		常葉大短大部		1	
宮城大	1	4	2	流通経済大			4	東京医療学院大		1	1	合計	5	4	10
秋田県立大	4	1		国際医療福祉大	2	1	2	東京医療保健大	1			県立一関高看	2	3	1
秋田公立美大	2	1		白鷗大	2	4	1	東京家政学院大	1			仙台医療附看護助産	2	1	1
山形県立米沢栄養大			1	作新学院大	1			東京農大	1	3	3	気仙沼市立看護専門	1		
会津大学		2		自治医大			1	東京理大	1	3	3	花巻高看			1
前橋工科大		4		共愛前橋国際大			1	東邦大		1		東北労災			1
高崎県立医療大		1		高崎健康福祉大			1	東洋大	5	2	1	水沢学苑看護専門学校	1	1	2
高崎経大	4	1	5	群馬バース大	3		4	日本大	6	4	13	都立南多摩看護専門学校			1
埼玉県立大	2			日本工大		1		日本社会事業大	2			都立北多摩看護専門学校	1		1
首都大東京			1	埼玉医大			1	文化学園大			1	岩手リハビリテーション学院	1	1	
神奈川県保大			1	埼玉工大		2		日本女子大		1		岩手医大専門学校歯科衛生学	1		
新潟県立大	1		1	埼玉学園大	4			日本体育大		1		国際医療福祉専門学校	2		
都留文科大	2	2	2	駿河台大		1		文教大	1	1	2	国際医療福祉大学総合看護学	1		
山梨県立大			1	目白大		1	1	文京学院大			2	千葉県立鶴舞看護専門学校			1
静岡県立大	1			日本医療科学大			2	法政大	3	3	2	千葉薬センター附属看護学	1		
福知山公立大			1	西武文理大		1		明治学大	5	4	6	仙台徳州看護専門		1	
島根県立大			1	城西国際大	1	2		明治学院大	2	2		仁愛看護専門学校			1
鳥根立大			1	亀田医療大		1		名城大		1		その他医療系専門学校	1	3	2
名桜大	1		1	千葉工大	4	2	4	明星大			3	その他専門学校	18	5	8
合計	29	35	43	千葉科学大			1	立教大			2	合計	32	15	20
				帝京平成大	3	2	2	立正大	2		2	公務員	3	3	3
				秀明大	1	3	2	ルーテル学院大		1		民間就職			
				植草学園大		1		和光大	1			合計	3	3	3

# 令和元年度部活動の記録

## 《運動部》

県大会ベスト8以上

個人戦 渡邊美月

ベスト4

### ソフトテニス部

【男子】  
第71回岩手県高等学校総合体育大会  
ダブルス 石川純誠・及川錠太郎

ベスト8(東北大会出場)

第62回東北高等学校ソフトテニス選手権大会  
ダブルス 石川純誠・及川錠太郎

1回戦敗退

第51回岩手県高等学校選抜インドアソフト  
ダブルス 石川純誠・及川錠太郎

ベスト8

【女子】  
第13回東北高等学校春季ソフトテニス選手  
権大会  
第30回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選  
手権大会兼ハイスクールジャパンカップ2  
019予選会

ダブルス 高橋優杏・及川涼

ベスト8

ダブルス 高橋優杏・及川涼

ダブルス 高橋優杏・及川涼

ダブルス 高橋優杏・及川涼

1回戦敗退

第64回岩手県高等学校新人大会

ダブルス 高橋優杏・及川涼

ベスト4

第51回岩手県高等学校選抜インドアソフト  
テニス大会

ベスト4

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦 豊嶋成業

ベスト2

### 陸上競技部

岩手県陸上競技選手権大会

1100mH(男子2部) 小野寺俊太

200mH(男子2部) 小野寺俊太

400mH(男子2部) 小野寺俊太

800mH(男子2部) 小野寺俊太

1000mH(男子2部) 小野寺俊太

1500mH(男子2部) 小野寺俊太

2000mH(男子2部) 小野寺俊太

3000mH(男子2部) 小野寺俊太

4000mH(男子2部) 小野寺俊太

5000mH(男子2部) 小野寺俊太

7種競技(女子1部) 小野寺俊太

7種競技(女子2部) 小野寺俊太

7種競技(女子3部) 小野寺俊太

7種競技(女子4部) 小野寺俊太

7種競技(女子5部) 小野寺俊太

7種競技(女子6部) 小野寺俊太

7種競技(女子7部) 小野寺俊太

7種競技(女子8部) 小野寺俊太

7種競技(女子9部) 小野寺俊太

7種競技(女子10部) 小野寺俊太

7種競技(女子11部) 小野寺俊太

個人戦 伊藤瑞希 (インターハイ出場) 第2位

第49回東北高等学校弓道選手権大会

団体戦 伊藤瑞希 予選不通過

個人戦 伊藤瑞希 予選不通過

令和元年度全国高等学校総合体育大会

団体戦 伊藤瑞希 予選不通過

個人戦 伊藤瑞希 予選不通過

千葉 宏太 第6位(東北大会出場)

第67回東北高等学校選取水泳競技大会

1000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

2000m背泳ぎ 千葉宏太 予選敗退

第57回岩手県高等学校新人水泳競技大会

1000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

2000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

長谷川皓輝 第4位(東北大会出場)

200m背泳ぎ 長谷川皓輝 第3位(東北大会出場)

第27回東北高等学校新人水泳競技大会

1000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

2000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

4000m背泳ぎ 長谷川皓輝 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

4000m自由形 千葉結衣子 予選敗退

### バドミントン部

【女子】  
第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦 渡邊美月

ベスト8

第59回岩手県高等学校新人大会

団体戦

ベスト8

第40回岩手県高等学校選抜バスケットボ  
ール大会

ベスト8

第6回3×3U18日本選手権

第1位

第65回岩手県高等学校新人大会

予選リーグ敗退

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

ベスト8

### サッカー部

【女子】  
第71回岩手県高等学校総合体育大会

第3位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

第3位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

第2位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

### 山岳部

第71回岩手県高等学校総合体育大会

男子学校対抗

第4位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

100m背泳ぎ

長谷川皓輝

第7位(東北大会出場)

50m自由形

及川ちひろ

第6位(東北大会出場)

100m自由形

及川ちひろ

第7位(東北大会出場)

400m自由形

千葉結衣子

第8位(東北大会出場)

400m自由形

千葉結衣子

第6位(東北大会出場)

800m自由形

村主愛実

第3位(東北大会出場)

### 水泳部

第71回岩手県高等学校総合体育大会

男子学校対抗

第4位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

100m背泳ぎ

長谷川皓輝

第7位(東北大会出場)

50m自由形

及川ちひろ

第6位(東北大会出場)

100m自由形

及川ちひろ

第7位(東北大会出場)

400m自由形

千葉結衣子

第8位(東北大会出場)

400m自由形

千葉結衣子

第6位(東北大会出場)

800m自由形

村主愛実

第3位(東北大会出場)

### バドミントン部

【男子】  
第58回岩手県高等学校新人大会

団体戦

ベスト8

個人戦 豊嶋成業

第2位

第71回岩手県高等学校総合体育大会

団体戦

優勝(インターハイ出場)

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦

優勝(インターハイ出場)

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦

優勝(インターハイ出場)

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦

優勝(インターハイ出場)

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦

優勝(インターハイ出場)

第71回岩手県高等学校総合体育大会

個人戦



800m自由形 村主愛実 予選敗退  
 800m自由形 千葉結衣子 予選敗退  
 200m背泳ぎ 村上綾 予選敗退  
 第57回岩手県高等学校新人水泳競技大会  
 女子総合 第5位  
 400mリレー (及川ちひろ・村上綾・三上愛・村主愛実)

50m自由形 及川ちひろ 第4位  
 (東北大会出場)  
 100m自由形 及川ちひろ 第5位  
 400m自由形 村主愛実 第4位  
 400m自由形 村上綾 第5位  
 (東北大会出場)  
 200m背泳ぎ 村上綾 第5位  
 200m個人メドレー 村主愛実 第4位  
 (東北大会出場)

第27回東北高等学校新人水泳競技大会  
 400mリレー (及川ちひろ・村上綾・三上愛・村主愛実) 予選敗退  
 50m自由形 及川ちひろ 予選敗退  
 400m自由形 村主愛実 予選敗退

ウエイトリフティング部

第54回岩手県春季記録会  
 男子 73kg級 菊地悠斗 第1位  
 81kg級 千葉共将 第1位  
 102kg級 若槻陽祐 第1位  
 (大会最優秀選手)

女子 61kg級 及川駿斗 第2位  
 73kg級 伊藤夕緋 第2位  
 64kg級 菊池百花 第1位  
 76kg級 小原実紗子 第1位  
 59kg級 松内亜寿香 第2位  
 64kg級 菊地春乃 第2位  
 71kg級 小沢美咲 第3位

第71回岩手県高等学校総合体育大会  
 男子 学校対抗 2位  
 73kg級 菊地悠斗 第1位  
 81kg級 千葉共将 第1位  
 102kg級 若槻陽祐 (インターハイ出場) 第1位

女子 61kg級 及川駿斗 第2位  
 73kg級 伊藤夕緋 第2位  
 55kg級 松内亜寿香 第1位  
 59kg級 (全国高校女子選手権大会出場) 第1位  
 菊池百花 第1位

第39回東北高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会  
 女子 71kg級 小沢美咲 第2位  
 (全国高校女子選手権大会出場)  
 64kg級 菊地春乃 第2位  
 71kg級 小沢美咲 第2位  
 (全国高校女子選手権大会出場)

第1回岩手県高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会 (団体1次選考会)  
 男子 73kg級 菊地悠斗 第1位  
 102kg級 若槻陽祐 第1位  
 女子 71kg級 小原実紗子 第1位  
 64kg級 菊池百花 第3位

第21回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会  
 55kg級 松内亜寿香 21位(48人中)  
 59kg級 菊池百花 11位(48人中)  
 64kg級 菊地春乃 15位(28人中)  
 71kg級 小沢美咲 13位(17人中)  
 76kg級 小原実紗子 7位(15人中)

令和元年度全国高校総体ウエイトリフティング競技大会  
 81kg級 千葉共将 29位(47人中)  
 102kg級 若槻陽祐 10位(19人中)  
 73kg級 菊地悠斗 第4位  
 102kg級 若槻陽祐 第2位  
 令和元年度岩手県高等学校新人大会  
 男子 73kg級 小野来知 第1位  
 81kg級 菊地悠斗 第1位  
 67kg級 白田瑞季 第2位  
 81kg級 阿部祐太 第2位

《文化部》

女子 89kg級 佐藤匠真 第2位  
 73kg級 近藤駿 第3位  
 71kg級 菊地春乃 第1位  
 55kg級 千田さくら 第2位  
 59kg級 佐藤鈴渚 第2位  
 64kg級 佐藤愛子 第2位  
 レディースカップ第11回全日本女子選抜大会  
 64kg級 菊地春乃 13位(16人中)

音楽部

第86回NHK全国学校音楽コンクール岩手県コンクール 銀賞  
 第29回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 金賞

美術部

第42回岩手県高等学校総合文化祭 美術工芸展 第57回県下高校美術展 特賞 鈴木結好

書道部

第24回全日本高校・大学生書道展 書道展賞 多田まりや

自然科学部 (SSCI)

第11回坊ちゃん科学賞 研究論文コンテスト  
 優良入賞 「光発芽種子に関する研究 ―照射時間と発芽の関係について―」  
 佐藤光夏・高橋美翔・宮里日菜  
 最優秀賞 「卵殻膜による銅(II)イオンの吸着条件」  
 小山あずさ・及川紗愛・菅野菜々美・羽石乃彩  
 最優秀賞 「二酸化炭素の変換」  
 安部楓汰・岩淵正恭・及川勝太郎・大内悠翔

写真部

最優秀賞 「光発芽種子に関する研究」  
 佐藤光夏・高橋美翔・宮里日菜  
 令和元年度岩手県高等学校連盟写真専門部主催 夏季写真コンテスト 特賞 「正義の味方参上」 中目千聖  
 第42回岩手県高等学校総合文化祭写真部門 優秀賞 「唯我独尊」 高橋朱音  
 優秀賞 「かかってこい、ちよっと怖いけど」 石川茉莉奈  
 令和元年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部主催 スライドフォトコンテスト 特賞 「紅葉の中に」 熊谷名織

吹奏楽部

第28回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会 銅賞 芳賀 想 (Tp)

文芸・短詩部

第26回都留市ふれあい全国俳句大会 高校生・大学生部門 正木ゆう子先生入選 佐藤琳利子  
 長谷川權先生入選 千田洋平  
 第14回俳句一草庵10周年記念俳句大会 入選 千田洋平、鈴木萌晏  
 第61回啄木祭全国俳句大会 高校生部門 馬場吉彦先生選 菅原わかば  
 特選・天(啄木祭賞) 吉田琴美  
 特選・人 白濱一羊先生選 太田溶理  
 特選・天 五日市明子先生選 高橋明花  
 特選・地 大畑善昭先生選 佐藤琳利子  
 特選・人 名久井清流先生選 高橋明花  
 特選・人 吉田琴美  
 第22回俳句甲子園東北地区予選 優勝 水沢B 全国大会出場権を獲得 (15年連続15回目)

準優勝 水沢 A  
第30回伊藤園おくくお茶新俳句大賞

佳作特別賞 千田洋平

第一回盛岡国際俳句大会

事前投句日本語部門 入選 菅原わかば

高野ムツオ先生選 菅原わかば

第22回全国高等学校俳句甲子園選手権大会

(俳句甲子園)

予選リーグ 水沢高校 1-1 向陽高校(和歌山)

水沢高校 1-2 明善高校(福岡)

水沢高校 3-0 宇都宮高校(栃木)

一勝二敗で予選リーグ敗退

個人優秀賞 高野ムツオ先生選 高橋明花

中原道夫先生選 菅原わかば

ねんりんピック紀ノ国わかやま2019俳句交流大会

ジュニアの部高校生

優秀賞 千田洋平、吉田琴美、菅原わかば

岩手県高等学校文芸コンクール

俳句部門 千田洋平

最優秀賞 吉田琴美

優秀賞 千田洋平

(次年度高総文参加予定)

佐藤琳利子(北海道大会出場)

鈴木萌晏(北海道大会出場)

外山歩佳(北海道大会出場)

高橋 咲(北海道大会出場)

高橋明花(北海道大会出場)

里館園子(北海道大会出場)

優良賞

文芸部誌部門 文芸・短詩部「煌16号」

優秀賞 大内祐奈、千田洋平

詩部門 大内祐奈、千田洋平

短歌部門 千田洋平

優秀賞 千田洋平

令和元年芭蕉蛤塚忌全国俳句大会

高校生の部 特選 千田洋平

第47回千代女少年少女全国俳句大会

高校生の部 特別賞 鈴木萌晏

第23回高校生創作コンテスト

俳句の部 最優秀賞 鈴木萌晏

小林一茶百九十三回忌全国俳句大会

高校生・大学生部門 特選 高橋 咲

第22回神奈川大学全国高校生俳句大賞

最優秀賞 千田洋平

入選 菅原わかば、高橋明花、千田洋平  
外山歩佳、佐藤琳利子  
一句入選

高橋明花、千田洋平、外山明花、

鈴木萌晏、吉田琴美、里館園子

団体優秀賞 里館園子

第34回全国高等学校文芸コンクール

俳句部門 優秀賞 千田洋平

優秀賞 里館園子

第10回富士正晴全国高等学校文芸誌賞

奨励賞「煌十六号」

圖書将棋部

第43回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権

岩手県大会 第2位

男子団体戦 第2位

第28回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会

男子団体 A 第3位

### 令和元年度激励金交付報告

今年度は、東北大会・全国大会に出場した部に激励金として約37万円を支出しました。  
今後ますますの活躍を期待します。

#### 運動部

ウエイトリフティング

ソフトテニス

水泳

弓道

陸上

#### 文化部

文芸・短詩

書道



### 令和元年度 職員異動

#### ◆転出

吉川 彰彦(副校長) 岩泉・校長

佐藤 理(事務長) 杜陵

城守 寛(理科) 花巻南

青柳 伸二(保健体育) 大東

林 苗子(家庭) 千厩

安藤智彩保(地歴) 釜石

千葉 賢(数学)

佐々木淳一(地歴) 一関第一

葛西 雄子(英語) 釜石

兼平 哲哉(理科) 福岡

小竹 光(英語) 岩泉

佐々木 伸(理科) 盛岡第二

伊藤ゆかり(事務主査) 水沢工業

#### ◆転入

及川 晃貴(校長) 盛岡市立

中村 智和(副校長) 学校教育課

高橋 正美(事務長)

高橋 利幸(地歴) 釜石

佐々木明志(保健体育) 盛岡工業

県南教育事務所

戸田 公夫(理科) 福岡

岡田 孝司(保健体育) 宮古商業

林崎 英恵(英語) 不來方

樋下 靖子(家庭) 紫波総合

小原 博(数学) 平舘

千葉 一江(理科) 西和賀

落安 成美(英語) 宮古

稲森 藤夫(理科) 盛岡第一

舟山 晋(地歴) 盛岡商業

池田 福子(事務主査) 杜陵

伊藤 守人(学校技術員)

千田 豊和(SH事務補助)

#### ◆退職

立花 起一(校長)

菊池 行(保健体育)

小澤 優(学校技術員)

内田 朋香(SH事務補助)

但し、定期人事異動のみ。

水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、水高育英会へのご寄付は322名の方より総額332万円のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。これまで多くの進学する卒業生を支えております。今後ともご協力をお願いいたします。

水高育英会寄付者(令和2年2月10日確認分・敬称略)

青木 智子	大井 智子	河野 修	佐藤 恒	千田 康明	藤澤 孝子
青山 栄	大林 千一	小坂 千代子	佐藤 仁志	千田 安男	藤沢 弘美
朝倉 ティ	大和田 智恵	小塚 すみ子	佐藤 牧人	千田 康視	藤田 功
浅間 光将	岡村 朋子	後藤 鈴子	佐藤 誠	千葉 修	藤田 和芳
阿部 正汰	小澤 祥子	後藤 鐵郎	佐藤 康子	千葉 一範	藤本 和男
阿部 勝	小澤 正一	後藤 文子	佐藤 良子	千葉 勝俊	藤原 吉明
阿部 祐子	織田 一葉	小貫 明美	澤野 スミ子	千葉 敬治	芳沢 莖子
雨海 重利	小野田 義人	小林 麻利子	塩澤 保子	千葉 サト	芳沢 寛邦
雨笠 祥子	小野寺 アキ子	小林 幸夫	島津 勢津子	千葉 俊	細田 哲史
有賀 由美	小野寺 真也	小林 頌子	白土 豊	千葉 培夫	本庄 省五
有住 和彦	小野寺 清哉	近藤 明子	菅原 勝志	千葉 努	本田 厚子
有住 四男	小野寺 拓也	近藤 榮助	菅原 清市	千葉 剛	本田 千寿
有馬 里香	小野寺 武夫	今野 敏昭	菅原 恒久	千葉 信雄	本明 和臣
安倍 邦弘	小野寺 幸男	齋藤 達宏	菅原 文江	千葉 英寛	前田 穂積
安倍 智	小原 真一	齊藤 とよ子	菅 洋子	千葉 等	薪田 幸子
池田 美沙子	小原 伝	佐伯 石根	菅原 義子	千葉 廣	薪田 繁
石川 恵美子	小山 巖	佐伯 紀子	鈴木 研一	千葉 悠人	薪田 裕子
石川 錦哉	柏木 一成	早乙女 トヨ子	鈴木 広司	千葉 廣見	松井 明美
石川 精子	萱場 順子	佐賀 明子	鈴木 壮	千葉 政喜	松枝 四郎
石川 節子	川端 佳人	佐久間 由子	鈴木 紀子	千葉 正幸	三浦 新作
石川 力	川村 富喜子	作間 祐子	鈴木 教敬	千葉 幸彦	三浦 利園
石川 具昭	菅野 郁也	櫻井 淳一	鈴木 廣隆	津川 和子	三浦 光章
石川 智康	菅野 博久	櫻井 みち	鈴木 宏哉	角田 愛子	三木 香織
石柱 アツ子	菊田 洋子	佐々木 一重	鈴木 芳春	手嶋 美枝子	水沢 幸子
和泉 真知子	菊地 紀美子	佐々木 和子	須藤 トメノ	寺島 知子	三田 和敏
泉田 守司	菊池 軍司	佐々木 敬二	瀬ノ口 敬子	出羽 達	三田 賢哉
板宮 キミ子	菊池 賢司	佐々木 健	高野 聡子	刀根 勝雄	三田 耕市
市川 公大	菊池 貞夫	佐々木 繁夫	高野 忠夫	刀根 清	宮脇 昭子
伊藤 明美	菊池 眞平	佐々木 崇	高橋 昭夫	刀根 恵子	武蔵 陽子
伊藤 正彦	菊池 セツ子	佐々木 達	高橋 昭憲	富塚 俊昭	村上 英子
稲垣 直子	菊池 孝哉	佐々木 東輝	高橋 邦明	虎井 祥雅	村上 恵一
稲葉 健史郎	菊池 恒夫	佐々木 寿也	高橋 恵一	鳥海 恭司	村上 哲
稲葉 穂奈美	菊池 敏子	佐々木 裕之	高橋 頭太	中田 佑	村上 慶吉
稲葉 好昭	菊池 典子	佐々木 正男	高橋 航太	長野 耕定	山合 祐子
井上 克之	菊池 則行	佐々木 勝	高橋 進	中田 佑	山下 尚子
井原 美佐子	菊池 弘明	佐々木 みき子	高橋 苑子	中村 欣正	山下 量子
今泉 則子	菊池 正昭	佐々木 康治	高橋 平	中村 由紀子	横澤 一男
岩井 昭	菊池 政勝	佐々木 優花	高橋 悌子	奈良 玲二	横山 雅年
岩館 雄治	菊池 正嘉	佐々木 裕子	高橋 貢	二階堂 万津子	吉崎 直子
岩淵 時男	菊池 満	佐々木 由紀子	高橋 陸子	西瀬 雄子	吉田 典子
内田 光寿	菊池 吉彦	佐々木 友美子	高橋 佳文	西前 和恵	吉田 万優美
遠藤 香菜子	菊池 利恵	佐藤 晃	高橋 利恵子	西村 京実	吉水 義浩
及川 育矢	菊池 竜太	佐藤 修	高橋 量平	根岸 涼子	米峰 かず子
及川 瑞郎	北島 悟	佐藤 一男	竹内 眞寿	野 久雄	渡辺 明日美
及川 修	木村 恵也	佐藤 紀久子	田中 エミ子	長谷部 幸子	渡辺 朝子
及川 修	木村 文子	佐藤 京子	田中 雄一	羽藤 良明	渡辺 主喜
及川 一恵	草皆 弘毅	佐藤 謙司	丹野 幸矢	花輪 恵美子	渡邊 恵子
及川 公夫	國井 恭子	佐藤 浩一	千田 悦子	花輪 和雄	渡辺 敬子
及川 紀美子	熊谷 孝一	佐藤 栄	千田 恵子	林 京子	渡辺 房枝
及川 國嘉	熊谷 修二	佐藤 智子	千田 正太	原田 祐参	
及川 智	熊谷 たみ子	佐藤 大輝	千田 伸明	東村 芳恵	
及川 スミ	倉成 妙子	佐藤 工	千田 英之	久松 豊	
及川 忠廣	桑島 宗一	佐藤 卓郎	千田 正義	菱谷 隆三	
及川 通	郷右近 晃	佐藤 友樹	千田 道宣	菱沼 美千代	
及川 英彦	郷右近 裕育	佐藤 訓文	千田 實	平中 新子	

# 創立110周年 記念式典・祝賀会のご案内

(令和 2 年度 同窓会総会・懇親会)

本校は令和 2 年度 (2020 年) に、明治 44 年の創立から 110 周年を迎えます。

記念式典・祝賀会を行いますので、ご案内いたします。

なお、詳細は企画中です。決定後 7 月までに同窓会ホームページに掲載いたします。

<https://www.imizuko.com/>

日時・場所 令和 2 年 10 月 31 日 (土)

記念式典 13:30 奥州市文化会館 Z ホール

祝賀会 17:00 プラザイン水沢

(奥州市水沢佐倉河字後田 29)

お問い合わせ 水沢高等学校 同窓会事務局

電話 0197-24-3152 (平日 8:15~16:45)

## ◇事務室からのお知らせ◇

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400 円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

今年度の始まりは、平成 31 年でしたが、5 月 1 日には令和元年になりました。今年度は、奥州市にとって最大の話題は、国立天文台水沢 VLBI 観測所が関わった国際プロジェクトで世界初のブラックホールの画像撮影に成功したことです。本校には、所長の本間希樹先生を本校にお招きし、講演会を実施いたしました。本間先生から本校の生徒に対して、「チャレンジする姿勢を持ち続けてほしい」というメッセージをいただきました。さて、今年度も部活動での生徒の活躍がめだちました。特に、弓道部のインターハイ出場は 22 年ぶりの快挙でした。また、日本学生科学賞の岩手県審査において 3 つの研究が最優秀賞を受賞するなど、文化面での活躍もありました。来年度は、創立 110 周年の記念となる年となります。今後ともご支援、ご声援をお願いいたします。